

科目区分	専門教育科目	科目名	コミュニケーション技術B	科目コード	17F430	担当者	荒木 正平				
対象学生	介護福祉士コース2年生	学期区分	前期	単位数	1	卒業要件	必修				
						免許・資格要件	介護福祉士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
相談援助技術に関する基礎を理解したうえで、障害の特性にあわせたコミュニケーションのあり方についても学ぶ。また、他職種との連携・協働に必要なコミュニケーションのあり方についての理解を深める。						1. 「 <u>尽心</u> 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 <u>創造</u> 」 高度な知性と創造力	3. 「 <u>実践</u> 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考力・判断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	相談援助技術に関する基礎的理解を深める。					◎	◎		◎	○	
2.	コミュニケーション障害のある利用者との関わり方を学ぶ。										
3.	チームコミュニケーションに関する理解を深める。										
4.											
5.											
授業方法						成績評価の方法と割合					
演習科目である。講義や個人ワークとグループワークを組み合わせながら授業をする。事例に関する資料やDVDを活用する。（適宜レポート課題やミニテストを出題し、学生の理解を促す）						定期試験（50%） 提出物（40%） 受講態度（10%）					
準備学修						課題等への対応					
予習として、教科書を授業までに読んでおくこと（30～40分程度）。復習には、配付資料やレジュメ、ミニテストなども活用し、理解を深めるように努める。						授業内容の理解確認のため定期的にミニテストを実施し、必要に応じて個人指導を行う。					
授業計画											
第1回	相談援助技術に関する基礎的理解① 相談援助技術の意義と方法										
第2回	相談援助技術に関する基礎的理解② バイステックの7原則について1										
第3回	相談援助技術に関する基礎的理解③ バイステックの7原則について2										
第4回	相談援助技術に関する基礎的理解④ バイステックの7原則について3										
第5回	利用者の特性に応じたコミュニケーション① コミュニケーションの障害とは										
第6回	利用者の特性に応じたコミュニケーション② さまざまなコミュニケーション障害										
第7回	利用者の特性に応じたコミュニケーション③ コミュニケーションの障害のある利用者への対応1										
第8回	利用者の特性に応じたコミュニケーション④ コミュニケーションの障害のある利用者への対応2										
第9回	利用者の特性に応じたコミュニケーション⑤ コミュニケーションの障害のある利用者への対応3										
第10回	利用者の特性に応じたコミュニケーション⑥ コミュニケーションの障害のある利用者への対応4										
第11回	介護におけるコミュニケーション① 介護におけるチームコミュニケーション										
第12回	介護におけるコミュニケーション② 介護における記録の意義と目的										
第13回	介護におけるコミュニケーション③ 介護における記録の種類										
第14回	介護におけるコミュニケーション④ 「報告」「連絡」「相談」の意義と目的、方法										
第15回	介護におけるコミュニケーション⑤ 介護の職場における会議の意義と目的、方法										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
新・介護福祉士養成テキスト「コミュニケーション技術」中央法規出版						この授業では、対人支援に不可欠である相談援助技術に関する基礎的理解を深めるとともに、障害の特性に応じたコミュニケーション技術について、また他職種との連携の実際について学んでいきます。					